

ことばだより



令和8年1月13日
立川市立第七小学校
校長 島村 雄次郎
ことばの教室

3学期の通級が始まりました。寒い日が続いていますが、子ども達は元気に通級しています。冬休みの様子をきくことを楽しみにしています。

3学期の通級期間は短いですが、今年度のまとめをしながら、来年度に向けた準備もしていきます。

今年度末～新年度当初の予定

- ・3学期通級開始…1月13日(火)
 - ・お楽しみ交流活動 終…2月9日(月)
 - ・3学期通級終…3月9日(月)
 - ・振替指導・保護者面談期間…3月10日(火)～23日(月)
- ※振替指導や面談については、別途担当者からお声掛けします。

保護者の方へ

<令和8年度の通級曜日・時間について>

1月下旬に、次年度の通級日時希望調査をお配りします。期日までにご提出ください。

今年度内に通級時間・曜日を調整し、4月に担当者から正式に通級日を連絡いたします。*次年度の担当は替わる場合があります。



在籍校の先生方へ

<令和8年度 個別の教育課程について>

来年度通級を継続する児童につきまして、教育課程[第1表(通)]の参考資料を2月19日付けてお送りします。

*教育委員会に提出されましたら、各校の教育課程の写しを重要書類用封筒にて、七小校長宛てにお送りください。

おたのしみ交流活動をしています！

5.6年生が作成したクイズやゲームなどを、各通級日に児童たちが取り組む「お楽しみ交流活動」を11月17日から行っています。

全体で集まる活動ではありませんが、chromebookのクラスルームに取り組みの動画を載せたり、ゲームの担当児童がそれにコメントをしたりなど、ICTを活用した交流をしています。会ったことはなくても、お互いを意識してルールを作成したり、取り組みの報告をしたりなど、ゲームと交流の両方を楽しんでいます。期間は2月9日までです。掲示物もありますので、ぜひご覧ください。





読み書きについて



ことばの教室には、発音の誤り、吃音、言語発達に課題がある児童の他に、読んだり書いたりすることに苦手さがある児童も通っています。具体的には、抜粹ですが、以下のような児童です。

- ひらがな・カタカナが覚えられない
- 特殊音節（促音や拗音など）が抜けたり、誤ったりする
- 作文が書けない
- 文章を単語のまとまりで読めない
- 文字が乱雑だったり、形がとれなかったり
- 漢字を正しく覚えたり書いたりできない



読み書き困難の背景については、色々ありますが、以下、代表的なものと、それに対する手立てを紹介します。

音韻認識の弱さ ※主に「読み」に苦手さのある児童

◎音韻認識とは、ことばは1つ1つの音からできていることを理解し、ことばを音に分けたり、その音を並べ替えたりする力のことと言います。

下記は、音の気づきと操作の発達（定型発達）です。

5歳半ころ

- 2文字の逆唱ができる
⇒「りす」→「すり」
- 単語の中から文字を取り出す
⇒「うさぎ」の「う」

6歳半頃

- 3文字の逆唱ができる
⇒「うさぎ」→「ぎさう」

「音韻意識」を育てる具体的な手立て

リズムことば・・・清音（あいうえお等）では拍手、促音（小さい「つ」）ではグーにする。

→目には見えない音に手の形（視覚情報）や手の動き（固有受容覚）を加えることで、単語に含まれる音の構成を意識させる。



その他、読み書きの苦手さの背景には、ワーキングメモリの弱さ、音と文字の変換スピードの遅さ、眼球運動の弱さ、視空間認知の弱さ、視覚と運動の協応の弱さなどがあります。ことばの教室では、それぞれの児童の実態に合わせ、手立てを検討し、日ごろの指導に当たっています。

心配なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

第七小学校 ことばの教室 042-527-3627

